

大型連結ブロック

DIACUT DIACUT

ダイヤカット II型



昭和47年(1972年)災害復旧工事 ⇒ 45年経過現場(2018年撮影)



SANYO BLOCK KOGYO CO.,LTD.

山陽ブロック工業株式会社

豊かな自然環境と快適な 社会生活との調和を目指して

河川的环境整備は、自然環境の保全・保護と快適な社会生活の維持を考
える上で避けては通れない大きなテーマです。ダイヤカットは、自然
に調和したフォルムと堅牢な構造性能・耐久性により、幾何学模様
の景観美を追究し、さらに河川の構造物をしっかりと保護します。

■特徴

- 大型化されており、工期が大幅に短縮され、施工も簡単で経
済的です。
- 質量が大きく、連結によって各ブロックがマット状に一体化されますので、掃流力に
対して安定します。
- 菱形で構成された凸部を持ち、流速低減の粗度をして有効に作用します。
- 目地間隔が小さいので、水流による土砂の吸い出し現象が減少します。
- 接地底面を大きくしてありますので法面に安定し、地盤の変化に対応して適度の屈撓
性も発揮します。
- 直線で構成されており、配列されたブロックは連続した美しいダイヤカット状の幾何学模
様となりますので、
優れた構造美を発揮し、周囲の環境とよく調和します。

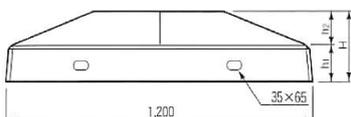
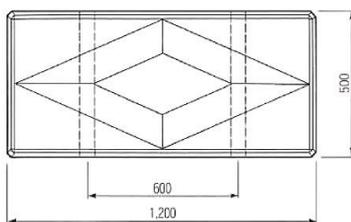
■規格表

型式	呼び名	主要部寸法 (mm)	質量 (kg)	使用数(個/㎡)
Ⅱ型 350型	A形	1200×500×250	217	1.667
	B形	600×500×250	104	-

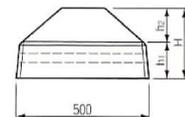
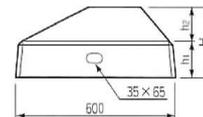
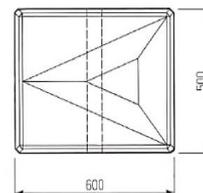
共和式ダイヤカットⅡ型

■規格寸法－350型

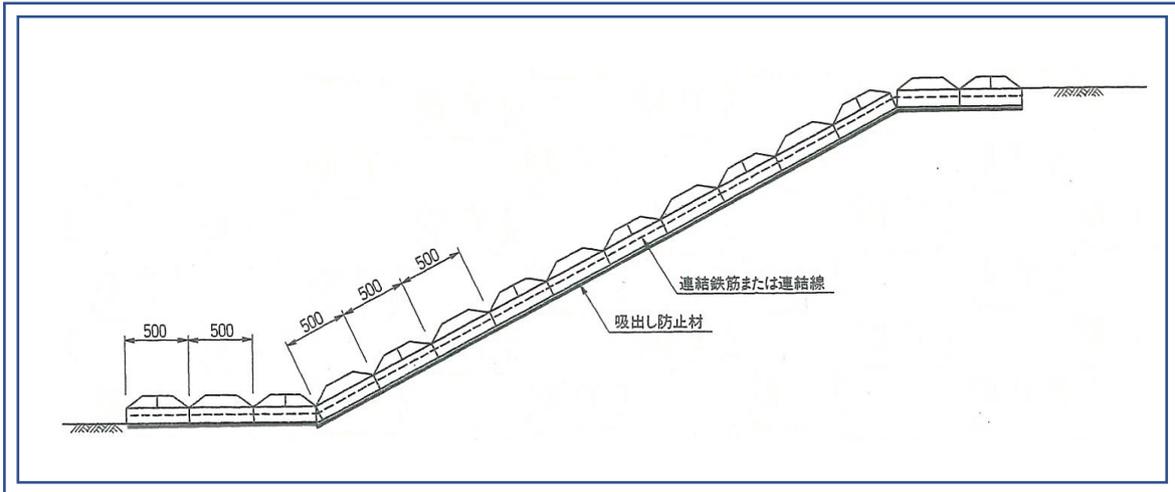
A形



B形



■標準布設図

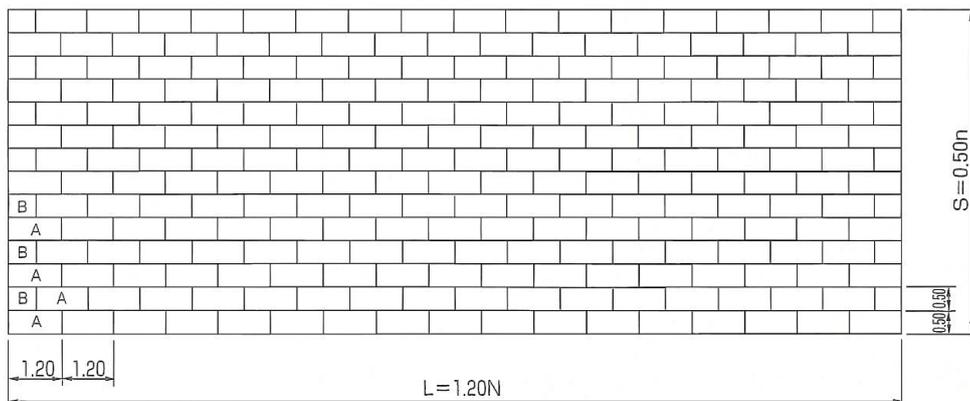


■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび連結線又は連結鉄筋の標準所要数量は、次の式によって求めます。

区分		施工段数が奇数の場合	施工段数が偶数の場合
ブロック	A形	$N_A = \frac{S}{0.50} \left(\frac{L}{1.20} - 0.5 \right) + 0.50$	$N_A = \frac{S}{0.50} \left(\frac{L}{1.20} - 0.5 \right)$
	B形	$N_B = \frac{S}{0.50} - 1$	$N_B = \frac{S}{0.50}$
連結線長		$N_S = \frac{L}{1.20} (2S + 2.8) - 1.1$	
連結鉄筋長		$N_S = \frac{L}{1.20} (2S + 1.72)$	※結尾部 2(0.13 × 2 + 0.6)を見込む

N_A : A形のブロック数(個) 0.50 : 護岸長方向の単位施工長(m) L : 施工延長(m)
 N_B : B形のブロック数(個) 1.20 : 延長方向の単位施工長(m) S : 護岸長(m)
 N_S : 連結線長又は連結鉄筋長(m) 0.5 : A形とB形のブロック支配面積比率



N : 延長方向の施工列数(1列当り 1.20m) n : 法長方向の施工は段数(1段当り 0.50m)

注) 施工区画は矩形を標準とし、曲線部の場合は別途算出します。

■ 施工写真



 **SANYO BLOCK KOGYO CO., LTD.**
山陽ブロック工業株式会社

本社 〒732-0826 広島市南区松川町2番3号
TEL 082-568-8515 FAX 082-261-6158

広島営業所 TEL 082-568-8513 FAX 082-568-8610

本郷営業所 TEL 0848-86-2808 FAX 0848-86-2872

※ これらの工法・製品は、共和コンクリート工業株式会社のライセンス契約により掲載しております。

2018.12